

社会福祉法人福井県社会福祉協議会表彰規程

第1章 総 則

(趣 旨)

第1条 民生委員児童委員および社会福祉法人・福祉施設、社会福祉協議会等の団体等の役職員で、その功績顕著な者ならびに社会福祉活動が優秀な社会福祉協議会および民生委員児童委員協議会または社会福祉活動に協力、援助した功績顕著な者に対し、福井県社会福祉協議会長（以下「会長」という。）がこれを表彰するときはこの規程による。

第2章 表 彰

(表彰の対象)

第2条 会長が表彰するものは、次の各号に定めるものを対象とする。

- (1) 民生委員児童委員でその功績顕著な者
- (2) 福祉委員でその功績顕著な者
- (3) 社会福祉法人・福祉施設の役職員でその功績顕著な者
- (4) 社会福祉協議会、民間社会福祉団体等の役職員でその功績顕著な者
- (5) 社会福祉活動が特に優秀な社会福祉協議会
- (6) 社会福祉活動が特に優秀な民生委員児童委員協議会
- (7) ボランティア活動が特に優秀な者または団体
- (8) その他会長が特に必要と認める功績顕著な者または団体

2 前項各号に規定する対象のうち、過去において、次の各号の一に該当するものは、表彰の対象から除外するものとする。

- (1) 社会福祉関係で、藍綬褒章または黄綬褒章を受けた者
- (2) 社会福祉関係で、県知事表彰を受けた者または団体
- (3) 社会福祉関係で、厚生労働大臣表彰または全国社会福祉協議会長表彰を受けた者または団体
- (4) 会長表彰を受けた者または団体

3 前項各号に該当するもののうち、次の各号のいずれかに該当する者または団体については、過去の表彰の対象と異なる資格を有する場合に限り、表彰の対象とするものとする。

- (1) 第3条に規定する資格を有すると認められる場合
- (2) 第7条に規定する資格を有すると認められる場合
- (3) 第8条に規定する資格を有すると認められる場合
- (4) 第9条に規定する資格を有すると認められる場合

(民生委員児童委員功労表彰の資格)

第3条 民生委員児童委員功労表彰の被表彰者は、次の各号に定める条件を具備するものとする。

- (1) 民生委員児童委員の現職であること。
- (2) 民生委員児童委員としての在職期間が10年以上であること。

(福祉委員功労表彰の資格)

第4条 福祉委員功労表彰の被表彰者は、次の各号に定める条件を具備するものとする。

- (1) 福祉委員の現職であること。
- (2) 福祉委員としての在職期間が10年以上であること。

(社会福祉法人・福祉施設功労表彰の資格)

第5条 社会福祉法人・福祉施設功労表彰の被表彰者は、次の各号に定める条件を具備するものとする。

- (1) 社会福祉法人の役職員ならびに社会福祉法人以外の法人等が経営する福祉施設の職員の現職であること。ただし、公立の福祉施設の職員の場合は、現業に従事する者に限るものとする。
- (2) 在職期間が、社会福祉法人の役員にあっては10年以上、社会福祉法人・福祉施設の職員にあっては15年以上であること。

(社協、民間団体功労表彰の資格)

第6条 社会福祉協議会、民間社会福祉団体等功労表彰の被表彰者は、次の各号に定める条件を具備するものとする。

- (1) 社会福祉協議会、民間社会福祉団体等の役職員の現職であること。
- (2) 社会福祉協議会、民間社会福祉団体等の役職員としての在職期間が、役員にあっては10年以上、職員にあっては15年以上であること。

(社会福祉協議会優良活動表彰の資格)

第7条 市町の区域を単位として設立されている社会福祉協議会（ただし、市町における地区社会福祉協議会等を単位とすることができる。）であって、次の各号に定める要件に該当するものとする。

- (1) 社会福祉協議会の組織体制の強化や運営管理体制の強化に努め、実効性のある活動を展開していること。
- (2) 過去3年以上、高齢者、障がい者、児童または生活困窮者等を対象に他の範となる優秀な活動を行い、実績が顕著であること。

(民生委員児童委員協議会優良活動表彰の資格)

第8条 民生委員児童委員協議会（市の区域を単位とする連合会を除く。）であって、その活動が優秀と認められるものとする。

(ボランティア優良活動表彰の資格)

第9条 社会福祉分野の活動を行うボランティアまたはボランティアグループとして、その功績が顕著であって、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 社会福祉事業等のボランティアとして、過去10年以上にわたり率先して活動

を行い現に活躍中のもの、または過去5年以上にわたり率先して活動を行い現に活躍中のものであって、その活動が他の模範となるもの。

(2) 社会福祉事業等のボランティアグループ（企業および教育機関含む）として、過去5年以上にわたり率先して活動を行い、現に活躍中のものであって、その活動が他の模範となるもの。

（表彰の時期）

第10条 この規程による表彰は、県社会福祉大会が開催される年次においては同大会で行い、同大会が開催されない年次においては、適当な時期に行うものとする。

2 前項の規定にかかわらず、会長が必要と認めたときは、随時表彰を行うことができる。

（表彰の方法）

第11条 表彰は、会長名の表彰状および記念品を贈呈しこれを行う。

第3章 推薦および審査等

（候補者の推薦者）

第12条 この規程に定める表彰に該当すると認められるものの推薦は、表彰等の区分に応じ、次の表に定めるところによる。

表彰等の区分	推薦者
民生委員児童委員功労表彰	・市町長
福祉委員功労表彰	・市町社会福祉協議会長
社会福祉法人・福祉施設功労表彰 ・公立福祉施設（保育所（園）、認定こども園（幼保連携、保育所型に限る）を除く）の施設長および職員 ・社会福祉法人・福祉施設（保育所（園）、認定こども園（幼保連携、保育所型に限る）を除く）の理事長、役員、施設長および職員 ・公立私立保育所（園）、認定こども園（幼保連携、保育所型に限る）の理事長、所（園）長および職員	・市町長等（職員にあっては施設長） ・法人の理事長（職員にあっては施設長も可） ・市町長
社協、民間社会福祉団体功労表彰 ・市町社会福祉協議会の会長 ・社会福祉協議会または民間社会福祉団体の役員	・市町長 ・社会福祉協議会長（県を区域とする社会福祉団体にあってはその団体の長）
社会福祉協議会優良活動表彰	

・市町社会福祉協議会 ・市町における地区社会福祉協議会等	・市町長 ・市町社会福祉協議会長
民生委員児童委員協議会優良活動表彰	・市町長
ボランティア優良活動表彰	・市町社会福祉協議会長、社会福祉法人・福祉施設の施設長または民間社会福祉団体の長

2 前項の規定にかかわらず、会長はその候補者を推薦することができる。

(表彰選考委員会)

第13条 表彰を審査するため、会長の委嘱する表彰選考委員をもって構成する表彰選考委員会を置く。

2 前項の表彰選考委員会は、推薦者および会長から提出された推薦書により、その功績選考を行い、会長に答申するものとする。

(補 則)

第14条 この規程の施行に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規程は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（昭和60年4月1日）

1 この規程は、昭和60年4月1日から適用する。ただし、勤続（通算）条件のうち、第6条永年勤続の在職期間については、この規定にかかわらず、昭和63年3月31日までの経過措置として「20年以上」とする。

附 則

1 この規程は、平成元年6月26日から施行する。
2 改正後の規程第3条第3号、第4条第3号および第5条第3号の規定は、郡市単位において同種の表彰制度がない場合は、適用しないものとする。

附 則

この規程は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 12 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 16 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 本規程の施行をもって、平成元年 6 月 26 日から施行する附則第 2 項は廃止する。

附 則

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。